

6 無料公衆無線LANに係る認証方式及びセキュリティ確保に関する全国統一基準の早期策定

(総務省, 観光庁)

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等を控え、無料公衆無線LANの更なる普及、安心・安全で快適な利用環境の整備が必要不可欠であるため、次のとおり求めます。

提案・要望事項

無料公衆無線LANに係る認証方式及びセキュリティ確保に関する
全国統一基準の早期策定

～京都市では、利便性と安全性を兼ね備えた

新たな「KYOTO Wi-Fi」を10月から実施～



安心安全かつ快適な Wi-Fi 環境の整備に向けた全国統一基準の早期策定

本市での取組

京都市公衆無線 LAN 事業「京都どこでもインターネット (KYOTO Wi-Fi)」の整備

- ①事業開始：平成24年8月～
- ②整備箇所数：市内1,705箇所 (市バス停, 地下鉄駅, 商業施設, 公共施設) ※平成27年10月1日現在



さらに平成27年10月から、利便性と安全性の両立で安全快適に利用できる Wi-Fi の認証方式を採用！

関西における認証方式の統一に向け、関西広域連合「外国人観光客のための Wi-Fi 整備協議会」で、本市の認証方式をモデルとして提案

全国的な課題

全体の約37%が回答

外国人旅行者が旅行中に困ったこと第1位 (観光庁調査) ⇒ 「無料公衆無線 LAN 環境が整っていないこと」

- ①日本で普及している無料公衆無線 LAN は、特定会社の携帯電話利用者等に利用が限定されている。
- ②無料公衆無線 LAN を利用できない場合、通信料金が非常に高額となる。
- ③利用できる場合でも、各自治体や民間事業者など、事業主体によって利用方法や安全対策が大きく異なっている。

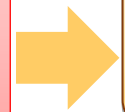


一自治体のみでの取組によって、これらの解消を図ることは困難

利便性と安全性を兼ね備えた認証方式、セキュリティ確保に関する全国統一基準の早期策定が必要！

さらに、整備を促進するために、

- ① 無料公衆無線 LAN の事業主体の垣根を越えた認証の連携や、全国統一基準を踏まえたアプリの開発等の促進
- ② 無料公衆無線 LAN の全国的な整備の着実な推進 **が必要！**



「観光立国」推進に貢献！